

**エンディングには男泣き必至！
天才・木下恵介の映像センスが冴える逸品！**

クラシック・シネマ

『わが恋せし乙女』

浅間山麓で一大ロケーションを敢行した男泣き必至のロマンス。西部劇を意識したという撮影はとても日本とは思えない雄大さ。特に馬が野を駆けるシーンには息を飲むこと間違いなし！物語の背後にさりげなく織り込まれた戦中派青年の哀しさも胸を打ちます！

**まさに藤純子のプロモーションビデオとも言える
ファン必見のシリーズ第1弾！**

クラシック・シネマ

『日本女侠传 俠客芸者』

働く女の強さと恋する女の弱さを絶妙に演じ分けるという藤純子の総てが詰まったシリーズ第1弾。映画のタイトルが出るシーンは鳥肌が立つ程のカッコ良さ。ここだけでファンは拍手喝采間違いなし。相手役の高倉健さんは得意のぶっきらぼうな快男子を演じて絶好調！

**東京・深川。愛と芸の間で揺れる女ひとり。
シリーズ第3弾！**

クラシック・シネマ

『日本女侠传 鉄火芸者』

正統任侠映画の達人・山下耕作監督の藤純子への愛がつまった一篇。貫録十分の男あしらいは小気味良く、義理と愛の狭間で悩む女心はしっとりといった具合に、深川芸者・藤純子の魅力を全編で活写。愛する男への愛を自ら血を流して示すシーンは藤純子主演作の五指に入る名場面！

**大阪・船場の呉服屋の若女将から
筑豊の炭鉱主へ！シリーズ第4弾！**

クラシック・シネマ

『日本女侠传 血斗乱れ花』

亡き夫の遺志を継ぎ、炭鉱主となった生き様を描く年代記。山下耕作監督の情感と俠氣溢れる語り口で古き良き任侠映画の様式が堪能出来る逸品。藤純子の女らしさと高倉健の男らしさは、共に惚れ惚れする素晴らしさ。

**濃い男前と純和風の美女が織りなす恋愛模様。
これが昭和30年代の文芸映画だ！**

クラシック・シネマ

『あした来る人』

井上靖の同名小説を映画化。今風に云うとオタク男と普通の女性との一方通行な恋愛模様を映画化。三橋達也と三國連太郎という昭和の“濃い男前”と、月丘夢路と新珠三千代という“純和風美女”の競演は見もの。特に女優陣が見せる昭和の女性らしい淑やかさは必見。